

大学院部会の審議の進め方(案)

博士課程への進学率の減少に代表される現在の博士課程を取り巻く課題として、重点的に議論を深めていただくことが必要と考えられる事項例は以下のとおり。これらの事項について以下のスケジュールで議論し、本年秋頃の中央教育審議会大学分科会将来構想部会のとりまとめにおいて、主要な点を大学院の将来構想として示すとともに、冬頃に審議経過報告としてとりまとめることとしたい。

【審議事項】

(1) リーディングプログラムの成果の検証と普及

リーディングプログラムの成果と継続状況等のフォローアップ(定着状況・運営状況)を前提として、

- ・リーディングプログラムと一般の課程との違いの検証
- ・リーディングプログラムに対する企業による評価(就職好事例含む)
- ・リーディングプログラムの成果の普及への課題と方策

(2) 大学院の有する価値及びストックの可視化

- ・博士人材の価値の可視化
- ・修士課程と博士課程後期との差別化
- ・人材養成目的に応じた各課程の目的の再評価
- ・大学院における3つのポリシーの在り方
- ・最適な定員管理等の在り方に関する検討(小規模専攻対策等)

(3) 博士課程への進学率の減少、修士課程学生減少への対応

- ・入学者選抜の改善
- ・志願候補者に対する情報発信及びリクルーティングの改善
- ・経済的支援の在り方(学内ワークスタディ等含む)
- ・DC、JASSO奨学金返還免除、授業料減免等の施策と、大学・地域・企業等による支援、寄付等を組み合わせた経済支援体制の確立

(4) 博士人材のキャリアパスの多様化と活躍状況の可視化

- ・博士人材データベース(J-GRAD)の本格的活用
- ・国内外の博士人材の企業等における処遇に対する情報収集
- ・アカデミックセクター以外で活躍する博士人材の具体的把握と発信
- ・人文・社会科学系大学院における教員以外のキャリアパスの多様化
- ・人材養成目的に応じたキャリアパス構築の支援

(5) 第3次大学院振興施策要綱のフォローアップ

(6) 修士課程及び博士課程における教育の充実

- ・修士課程教育の充実
- ・QEの運用状況の検証

- ・学生に多様な経験を積ませるための仕組みの構築（留学の促進等）
- ・教育のグローバル化（海外トップ大学との連携）
- ・人文・社会科学系大学院における教育の充実
- ・大学院におけるリカレント教育の在り方
- ・プレFDの充実
- ・博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムによる「学位プログラム」を実践事例として、大学院における学位プログラムの具体的な活用方法を検討

(7) 高度専門職業人養成の充実

- ・修士課程との在り方の整理を含めた大学院全体としての高度専門職業人養成機能の見直し
- ・実務家教員の活用方策
- ・専門職大学院と博士課程の連携

【スケジュール】（議論の状況により変更の可能性あり）

- ① 3月13日…議論の全体像の提示、将来構想部会での検討、これまでの大学院答申との関係性の説明、(1)「リーディング成果の検証普及」
- ② 4月中旬…(2)「価値ストック」、(3)「博士進学率減少」、(4)「キャリアパス多様化」
- ③ 5月上旬…(2)「価値ストック」(2回目)、(5)「振興施策要綱フォローアップ」、将来構想部会の中間とりまとめへの対応
- ④ 6月中旬…(6)「修士博士の教育の充実」(学位プログラム、海外トップ大学との連携(人文・社会科学系の取組を含む))
- ⑤ 7月上旬…(6)「修士博士の教育の充実」(修士課程の充実化、QE、留学の促進等、社会人学び直し、プレFD)
- ⑥ 8月上旬…(1)「リーディング成果の検証普及」(2回目)、(7)「高度専門職業人養成」
- ⑦ 9月上旬…将来構想部会の最終とりまとめへの対応。
- ⑧ 11月上旬…審議経過素案
- ⑨ 12月または1月…審議経過報告